

推進会議の構成団体間の情報共有を目的として発行している「あったか子育てニュースレター」。本号は、丹後保健所が主催した「丹後子育て支援者つながりプロジェクト」の内容をお届けします。

発行：令和6年9月
子育て環境日本一丹後推進会議
(事務局：丹後広域振興局)

「丹後子育て支援者つながりプロジェクト」が開催されました！

令和6年8月28日（水）にアグリセンター大宮で、丹後保健所が主催する「子育て支援者つながりプロジェクト」令和6年度研修会&交流会が開催されました。丹後地域で様々な形で子育てに携わり活動される10団体の方々にお越しいただきました。

株式会社コクリエの奥野 美里氏を講師にお招きし、対話をイラストやカラーペン等を用いて見える化し、コミュニケーションをより分かりやすくする技術「グラフィックファシリテーション」を学びました。交流会の中では、さっそくその技術を活用し、わいわいとにぎやかな雰囲気の中で団体や個人の活動を紹介し合いながら、新たなつながり作りのきっかけとなりました。



株式会社コクリエ
奥野 美里氏



■「グラフィックファシリテーション」って？

「メモのようで単なるメモでない。」相手と対話をしながら、同時進行で情報だけでなく雰囲気や感情など丸ごと見える化して紙に落とし込んでいくコミュニケーション手法、それが「グラフィックファシリテーション」です。その場で相手と一緒に完成させていく過程で、メモ自体がコミュニケーションの手助けツールとなり、相手の本音を引き出しやすくなったり、共感できたり、理解が深まったりする効果があります。

この技術を応用して、例えば子育てに悩む方の相談を支援者として受ける際に、より深くお話を引き出したり考えをまとめたりできるようになることが期待されます。

実は…本プロジェクトの続編を計画中です！

取材メモ

初めて「グラフィックファシリテーション」という言葉を聞いた時は、なんだか難しそうな横文字だな…と思ったものの、実際に触れてみると対話が見える化してコミュニケーションが楽しくなるスキルだなと感じました。わいわいとした雰囲気の中で、参加者の方からも好評につき、ぜひ実践ができるような続編を企画しようと計画進行中です。詳細や申込等については、次号以降でお知らせします♪

